

リビング熊本 2024年4月27日号に掲載されました!

眼科こがクリニック
古賀 貴久 院長

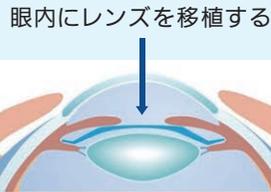


【プロフィール】 1995年、熊本大学医学部卒業。同大学眼科研修医を経て、武蔵野赤十字病院眼科(東京都)に国内留学。熊本大学大学院卒業後、医学博士号取得、熊本大学眼科講師。イリノイ大学シカゴ校留学を経て2009年、「眼科こがクリニック」を開院

- ・これまで1900眼以上のICL手術の実績※2016年～2024年
- ・クリニックにはICL手術を受けた職員が多数勤務

【ICL（眼内コンタクトレンズ）手術】

眼内にレンズを移植し近視を治す方法。レンズを取り出せば手術前の状態に戻すことも可能。毎日のケアも不要です。



手術の適応について

- ※21歳～45歳の近視の人がもっともよい適応です
- ※「45歳～55歳では老眼鏡の必要性をご理解いただける方のみ手術しています」

白内障手術・ICL手術専門
眼科こがクリニック
☎096 (377) 1701



ネット予約は
こちらから

LINEで「ICL相談室」

ICL手術について聞いてみたいことは、なんでも無料で質問・相談できます



受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30～11:00	外来	外来	外来	外来	外来/手術	外来
13:30～16:30	外来/手術	外来/手術	外来/手術	外来/手術	休	休

【完全予約制】休診/日曜・祝日 住所/中央区八王寺町40-5

近視治療「ICL手術」への疑問「手術は痛いですか?」 患者への不安にこたえる対策とは

白内障手術・ICL手術専門 眼科こがクリニック 眼科こがクリニック 検索

痛みの少ない手術で、 不安を軽減する取り組みも

術後の近視の戻りがほとんどなく、安全面でも優れた近視治療である「ICL手術」ですが、「痛みはありますか?」「緊張しやすいので心配など、手術自体に対する不安を持つ人もいます。そこで今回は、九州で唯一のICLエキスパートのICL手術の取り組みについて、詳しく伺いました。

「低濃度笑気麻酔」や「抗不安薬」の活用も

低濃度笑気麻酔は、歯科では子どもの治療などで以前から使用されている安全性の高いもの。「抗不安薬は術後に眠くなることがあるので、手術日に付き添いの方がいらっしゃる場合に使用していただきます」院長。ほかに、「手術中にメスの先端が見えますか?」「手術中にまばたきしてしまったり?」「目が動かないか心配」などの質問も。「手術中は顕微鏡の光が結構強いので、ぼんやりした影が見える程度です。瞬きを防ぐ器具を使用しますので、顕微鏡の光の方向をぼんやりと見ているだけで大丈夫です。」とのこと。「当院のホームページにICL手術に関する様々な情報載せていますので、是非ご覧ください。無料相談も受け付けていますので、気軽にご相談いただけます。」

現在同院では、適応検査を無料で行なっています。まずはネットや電話で予約を。

正しいICL手術の知識 vol.04

【読者からの質問】

ICL手術を受けたいのですが、手術は痛いですか? 痛みに弱いので不安です…

(西区・38歳男性)



麻酔で痛みはありません。ただし、目に圧力がかかる時に重い感じや圧迫される感じがありません」と院長。局所麻酔で話しながら手術するので、圧迫感があるような操作のときには声をかけて、なるべく負担のないように進めてくれます。さらに、手術中はリラックスできるように音楽を流しているそう。好きな曲をかけて手術が受けられ、緊張や不安感が軽減に効果があると、患者さんからも喜ばれているそうです。「それでも不安感が強い方には、リラックス効果のある低濃度笑気麻酔を使用したり、手術前に抗不安薬を飲んで頂くことも可能です。」

「ICL手術」への不安を軽減するこが眼科クリニックでの取り組み

①低濃度笑気麻酔

ICL手術は目薬の麻酔でまったく問題ありませんが、手術に対する不安感の強い人のために、同院ではリラックス効果と痛みを和らげる効果のある「低濃度笑気麻酔」を導入。歯科では、こどもの治療などで以前から使用されている方法です。



手術中にマスクの脇から酸素と笑気を混合した気体を流します。笑気ガスを止めると、すぐに麻酔効果はなくなり、歩いて帰宅できます。

②安心できる環境作り

- 手術は九州で唯一のICLのエキスパートインストラクターの資格を持つ院長が執刀
- 経験豊富な医師とスタッフがチームとなり、術前検査・カウンセリングを行なうので、安心して任せられます

明るく広々とした手術室。術前から医師やスタッフがしっかりコミュニケーションをとってくれるので、万全の状態です。手術が受けられます

